

学校で本当に学ぶべきこととは…

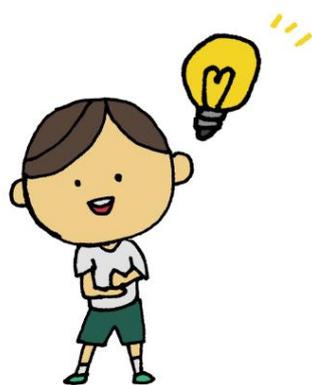
ある日、生徒に聞かれました。「なんで勉強しないといけないの?」「数学や歴史なんて大人になっても役に立たないでしょ?」誰もが一度は考えたことがあると思います。

突然ですが、他の生き物にはなく、人間にしかそなわっていない機能を知っていますか?

「言葉を話せること?」「勉強をするための知能?」様々なものが思い浮かぶと思いますが、程度が異なるだけで、大抵の機能は他の生き物にもそなわっています。

人間にしかない機能、それは「忘れる」という機能です。

私も初めて聞いたときは「え?本当に?それって損じゃない?」と思いました。ちゃんと勉強したのに、テストのときには忘れてしまってできなかったという経験は、誰しもあると思います。しかし、この機能のおかげで人間は他の生き物にはできないことをたくさん成し遂げているのです。私達が毎日の生活の中で行っていることはとてもレベルが高く、それらを覚えておける情報量や処理できる量は限られています。その中で、新たに知識を記憶したり、より高度なレベルの問題を処理したりするには、古い記憶を無くさなければいけません。私達が成長するため、さらに住みやすい社会に発展していくためにはどうしても必要な機能といえます。



ただ、「忘れる」という機能があるだけではありません。神様はさらに素敵な機能「思い出す」を授けてくれました。知識や思い出、経験などを忘れてしまったとしても、必ず思い出すことができます。そのような、人間にしかない「忘れる」「思い出す」機能を、さらに発展させて膨大な情報量を扱えるようにしたものがパソコンであり、人工知能 AI なのです。私達人間の持つ力は偉大なものですね。しかしその結果、AI は人間を凌駕する存在になりつつあり、現在ある職業の半分は将来的に AI の仕事になると言われるところまでできています。そうすると、学校で勉強している内容は、人間ではなく AI に学ばせればお互い楽になってそれで十分だという考えもうまれてくるでしょう。

ここで、最初の質問に戻ります。「なんで勉強しないといけないの?」

学校で本当に学ぶべきことは、「知識の量」や「勉強の中身」よりも「勉強の仕方」であり、勉強の過程で身につく「今後の人生を生き抜くための術」なのです。「自分の可能性を広げる」ことや「自分の長所・よさを見つける」ことにもつながり、それが「人生の選択肢を広げる」ことにもなるのです。

例えば「数学の方程式」では、様々な情報(問題文)の中から真実(答え)にたどり着くための証拠を取捨選択する力、つまり、トラブルに巻き込まれた時に自分の力で解決できる力を習得できます。他にも、「人生で失敗しない道を選ぶ力」や「詐欺に騙されない力」など、知らず知らずに大人になって役に立つ力がみんなにはそなわっています。今やっている勉強では、どんな力が身につくかを考えながら勉強していくと、成長する自分をイメージできて少しは楽しくなってきましたか? 世の中には必要のないものなんて存在しないのです!

「この世界は好都合に未完成・・・だから知りたいんだ」

『怪獣』～サカナクション～

ち

—地獄の道場について—

